

幼児クラス（3.4.5歳児）

活動人数 17名

活動日 令和7年10月17日

活動時間 10:00-11:00



テーマ

廃材を使って楽器を作ろう！

<テーマの設定理由>

毎月2回講師を招いてリトミックを行っており、楽器に触れる機会が多い。遊びの中でも玩具を鳴らして音を楽しむ様子が見られたり、楽器を作りたいと子ども達から離しが出たりしたので、家庭から廃材を集め楽器作りをすることになった。

どこで何をする？

<活動スケジュール>

本園保育室

廃材を使って楽器を作ろう！

何が必要？

<環境デザイン・俊美物・環境設定>

カメラ（記録用）

お菓子の空き箱、ペットボトル

ストロー、割りばし、キャップ

ガムテープ、セロハンテープ

ボンド、透明カップ、どんぐり

実践記録

<活動内容>

- ・製作した楽器で演奏して楽しむ
- ・保育者と一緒に楽器を作ることを楽しむ

【2025年10月17日 温度22.5度 湿度72%】



前回の反省を生かし、3.4歳児クラスは、透明カップを一人2個、ストロー、散歩で拾ったどんぐりを準備する。

保育者が見本に作った物を振ると

「わー！マラカスだ！」「このどんぐり、この間公園でいっぱい集めたよね。また、行きたい。」

「こうやって重ねるんだ！ハサミ使う？」

と興味津々な子ども達。

「先生が作り方見せるからみんなで作ってみよう！」

「やったー。」



5歳児クラスは二つ目の製作に取り掛かる。
箱の上に棒を並べ、その間にどんぐりを置き、
箱を斜めにしている。
「こうやって音を出すんだよ。」

前回何を作るか悩んでいた児は、今日も箱の前で
腕組みをしていたが、友達と相談を始めた。
箱の仕切りを鍵盤に見立てたい様子。



3・4歳児クラスは、ハサミを慎重に使い
ストローをカップの中に入れ、マラカスの
ベースが出来上がった。
ペンを使って模様を描くことにする。
「絵描くの楽しい〜。」
「これクマだよ。見て。どんぐり食べてる。」
イラストにカップの中のどんぐりを重ねている。



作りかけだったギロも保育者と完成し、
嬉しそうに演奏している。
「こうやって鳴らすと良い音するよ。
ギ・ロ って言うんだよ。」



ストローにヤクルトの容器をセロハンテープ
で2つ固定して笛を作っている。
「どうやって吹くの？」保育者が尋ねる。
口にストローをくわえてヤクルトの容器を抑え
「ウウウー」と二人で声を出して吹い
ている。

【ねえ。こうやって吹いたほうがいいんじゃ
ない？】「わかった！もう一回一緒にや
ろー！」「ウウウー」「違うよ！こうだ
よ！ウウウー」



それぞれ楽器が完成したので、最後に曲に合わせてみんなで演奏する。3・4歳児クラスは楽器を一つ持ち、5歳児クラスは1～2個楽器を机に置き、好きなタイミングで叩いたり、振ったりしている。

「どんな音がしてる？」

「マラカスの音！」「どんぐりの中に何か入っている音！」

バイオリンの様に箱と割りばしを弓にして「トゥートゥ、トゥー」と歌っている。あちらこちらから色々な種類の音が聴こえた。

【 2025年12月25日 温度23.1度 湿度80% 】



クリスマス会の日。鈴、カスタネット、マラカス、ギロ、トライアングル、アコンカグアに加え、カホン、ウインドチャイム、シンバルの新しい楽器を使い、リトミックの講師のピアノに合わせて全園児でクリスマスソングを演奏して楽しんだ。

振り返り

＜振り返りによって得た保育者の気づき＞

・廃材を使った楽器作りでは、3、4歳児は見本の楽器のイメージに近い形が多かったのに対して、5歳児は同じ楽器でもオリジナルの形や独自の演奏方法で表現していたのが印象的だった。また、小さなキャップ一個でも子ども達にとっては既にわくわくする楽器になっていた。

毎月自園で0歳児からのカリキュラムとして取り組んでいるリトミックは、一般的に音楽を通じて知的能力と肉体的能力の調和を目指す教育法と言われているが、子ども達が五感で感じ、自由に表現するというプロセスこそが大切であると分かった。それは0歳児の子どもであっても同じで、手を叩いたり、動きでリズムを表現したり、体そのものが既に楽器になっている。これからもより豊かな表現力を育んでいきたい。